

第IV部門

東大阪市高井田地区におけるエリアマネジメント

関西大学工学部 学生会員 ○渡辺 裕二
 関西大学工学部 正会員 北詰 恵一

1.研究の背景と目的

近年、成長都市の時代から成熟都市の時代へと変わってきている。そこで日本の各地でエリアマネジメント手法が行われてきている。エリアマネジメントとは地域の関係主体で組織をつくり、地域のミクロな特徴を生かすために、地域の人で話し合い、持続可能性のある継続的なまちづくりを行っていくものである。このエリアマネジメント手法は商業都市では見られるが、工業都市では見られない。

工業都市である東大阪市でも、特に工業集積が激しい高井田地区は、産業構造の変化や不況の長期化により工場が移転・廃業している。そこで工業都市高井田地区に、エリアマネジメント手法を適用することを目的とする。

2.既存のエリアマネジメントを行っている組織の調査

表1は事業内容、表2は構成員、表3は連携機関についてまとめたものである。表1の見方は縦が各地のエリアマネジメント組織の名前で、横が行っている事業内容である。表2も縦は同様に、横が参加している主体である。表3は横が連携機関である。

これらの表より、商業都市のエリアマネジメント組織は集客力と来街者の回遊性を高める事業を中心に行い、そして市役所と地元商業者との連携を重視し、構成員は地元商業者が中心となって組織し、まちの活性化を目指していることがわかる。

	イベント活動	他の組織との会合	伝統文化を生かした活動	地元意識の向上	親睦活動	商業人材育成事業	商業ベンチャー支援事業	空き店舗対策事業	広報活動	情報推進事業
青森県青森市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
石川県七尾市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
兵庫県神戸市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
神奈川県横浜市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
静岡県浜松市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
福島県福島市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
東京都三鷹市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
石川県金沢市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
長野県飯田市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
香川県高松市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
大阪府中央区	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
島根県松江市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

表1.事業内容

TMO 任意組織 NPO

	地元商業者	金融機関	商店街振興組合	株主	市面コンサルタント	市の派遣社員	民間企業	一般会員	個人	市議会議員	郵便局、立博物館
青森県青森市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
石川県七尾市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
兵庫県神戸市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
神奈川県横浜市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
静岡県浜松市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
福島県福島市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
東京都三鷹市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
石川県金沢市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
長野県飯田市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
香川県高松市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
大阪府中央区	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
島根県松江市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

表2 構成員

	市役所	地元商店街	市民	商工会議所	民間企業	他のもちり機関	大学	NPO法人	大規模小売店	TMO	市民団体	ボランティア団体	運輸事業者	自治会
青森県青森市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
石川県七尾市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
兵庫県神戸市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
神奈川県横浜市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
静岡県浜松市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
福島県福島市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
東京都三鷹市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
石川県金沢市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
長野県飯田市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
香川県高松市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
大阪府中央区	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
島根県松江市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

表3.連携組織

3.東大阪市高井田地区の調査

クリエイション・ネオ研究会を通じての、地元工場主と住民との議論からと、高井田地区の資料から明らかになった高井田地区の強みと課題を高井田地区のまちづくりコンセプトに適用したものが図.1である。エリアマネジメントの事例から愛着と地域資源を生かす発想と、意見調整の場の必要性を加えている点が、このコンセプトの特徴である。

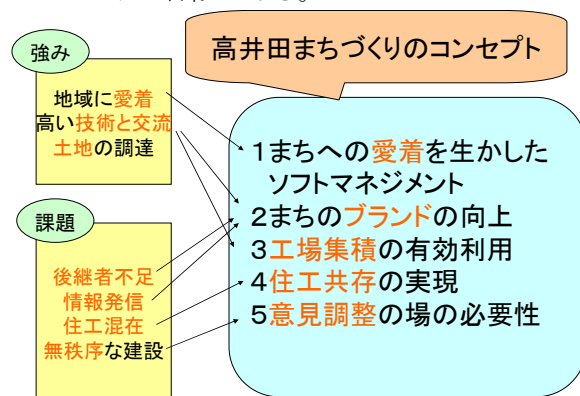


図.1 高井田まちづくりコンセプト

